

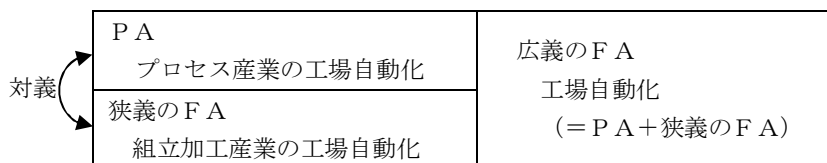
0. PA (=Process Automation) とPSE (=Process System Engineering)

二つの用語を解説する。

1) PA (=Process Automation)

PAは、プロセス産業、或いは装置産業と呼ばれる分野での工場自動化を意味する用語である。装置産業の典型例は、配管で繋がったプラントである。内容としては、現場遠隔化、自動制御、DCS運転、運転支援、等を含んでいる。

類似の用語にFA (Factory Automation) がある。直訳すると、工場自動化である。訳そのままの与えるイメージは幅広く、これは広義用法で、PAを含んだ工場自動化の意味になる。一方、狭義の意味では、通常は限定的に「組立加工産業の」工場自動化を指して用いられる。典型的な一例は、ライン作業のロボット化である。限定的意味としての狭義のFAは、PAの対義語となる。



他にも、以下の類義語がある。

OA=Office Automation HA=Home Automation BA=Bill Automation

ここで、類義語に共通する「オートメーション」についても補足しておこう。

<http://www.mirai.ne.jp/~suehiro/term/index.htm>

automation オートメーション

日本語では、自動制御を意味します。

automation は、古くからある英語の感じがありますが、戦後の言葉です。automatic + oration からできました。

automatic とは、自動的に、無意識にという意味の英語です。語源は、ギリシャ語で、「自分で動く」の意味があります。コンピュータ用語の、オートマトン(automaton 自動装置)も同じ仲間です。

2) PSE (=Process System Engineering)

化工、計装、情報、制御の重なりあった複合領域となる。モデリング、最適化、警報管理、PIMS、MES、プラントオペレーション、等、多岐に渡るテーマがある。「合目的的」や「システムバウンダリ」という独自思想の用語を持っている。なお、学術としてのPSE、大手化学企業のPSE、中堅化学企業のPSE、というように違ったPSEが存在してもよい。この柔軟性もPSEの懐の広さを示しているといえよう。

